

中国の春節風景！

JSC 貿易部ニュース 中国編



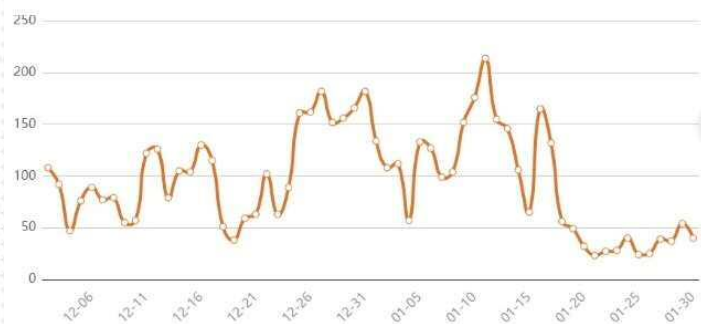
いつもお世話になっております。当メルマガに目を通して頂いてありがとうございます。

例年ですと、中国の旧正月（春節）に合わせてタイトル写真のような風情のある光景を紹介するところですが、今年はちょっと変わった様相になりそう、という話題です。

①新型コロナの影響

他国に比べ厳しい移動制限や生活上の規制を敷いている中国ですが、オミクロン株の影響からか、そんな中国でも昨年12月ごろから各地で新規陽性者が確認され、多い時には一日あたり200人を超える陽性者が確認される日も出てくるようになりました。

本土新增确诊趋势



(昨年12月～今年1月の中国国内の新規陽性者数)

以前のメルマガでもご紹介しましたが、”ゼロ・コロナ”政策を堅持する中国の新型コロナ封じ込め対策は、福建省でのコロナ騒動の時にあったように、感染者が出た地域に対し、最初は広めの範囲を決めて移動規制と連日のPCR検査を行い、徐々にその範囲を狭めながら絞り込んでいくという”ロックダウン”方式です。昨年11月ごろから広東省、陝西省、上海、天津などの都市でも、この”ロックダウン”方式の適用が確認されています。

その一方で、足掛け3年にわたるコロナ生活にそろそろ嫌気が差してきたのか、中国国内のメディアでも「もうすぐ春節が近いし、そろそろ自由に帰郷させてくれてもいいのでは？」という大衆の願望を表現したような論評を目にすることも増えてきました。

実際の帰郷の状況はどうだったかと石材業界に目を向けると、政府による交通規制が始まる前に帰郷した人と、無理して帰郷しない人の大きく分けて2つの層に分かれたようです。無理して帰郷しないという人が一定数いる背景には、すでに家庭などの生活基盤が就業地付近にある人の割合が増えてきている影響もあるのではないかと思います。

②冬季オリンピック

新型コロナと絡んで、2月4日から北京で開催される冬季オリンピックが状況をさらに複雑にしているように見受けられます。昨年の東京オリンピックでも開催によって感染が拡大するのではという懸念がメディアなどでありましたが、北京では春節による移動も加わりコントロールが難しくなっています。



このことに絡んで、最近中国の新聞上で出ていたイラストがこれです。

描かれている3人は、宇宙船「神舟13号」の乗組員である王さん、瞿さん、葉さん。現在宇宙空間で活動中の3人も故郷に帰らず“就地過年”（＝その場で年を跨ぐ）しているのだから、地球にいる我々も耐えて頑張りましょう！というメッセージのようです。イラストにある、「餃子がある場所がわたしの家です」というキャッチコピーが中国を感じさせます。

オリンピックに向けては、1月末から日本の選手団も続々北京入りしているとのこと。難しい状況ではあると思いますが、選手皆様の活躍と健康を祈念しております。

さて、今月の石のお話です。

春節期間ということで、まだ工場に原石が入っていない状態でのフライング情報ですが、近々皆様にご紹介したい石がございます。まだサンプルしか入手できていませんが、西日本を中心に結構評価をいただけるのではないかとと思われる石がございます。グレーの細目系統の石になります。今回は予告のみで申し訳ありません！詳細が判明次第、続報をお届けしたいと思います。

また物流関連の情報としては、一昨年からの遅延の流れが今年も続きそうな気配です。主な原因は、やはりコロナの影響で世界の主要港がフル稼働できていないこと、またコンテナ不足がずっと尾を引いていることが大きいです。

今月は以上となりますが、新型コロナの状況は、こちら大阪でも連日1万人にのぼる新規陽性者が確認され感染拡大が続いています。ピークアウトまではもう少し時間が必要な感じですが、私たちも感染対策に気を付けながら頑張っていきたいと思います。

全国的に新型コロナの感染拡大が続きますが、皆様くれぐれもご自愛ください。

2022/2/1